

介護と人生

**仕事・子育てと
どう両立させる?**

21

日本エルダーライフ協会 代表理事
ケアライフアドバイザー

柴本美佐代

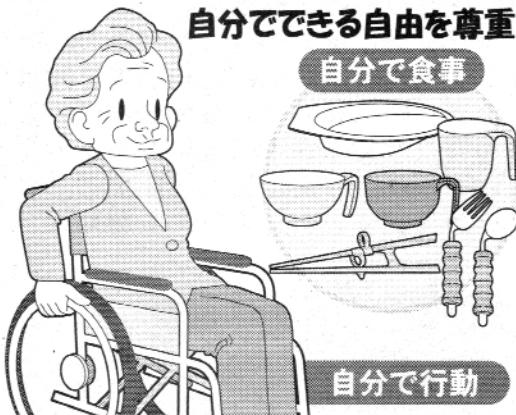
福祉用具の活用

介護を続けるために要介護者本人の自立が大切なことは以前にもお伝えしましたが、要介護状態の人が長く心身の機能を維持していくことは難しいものです。自立という「自分で自由なくできること」と思いがちですが、何かの助けを借りてできることも自立と捉えましょう。例を挙げ

ると、片まひで車椅子の人々が、使える足と手を使って、移動したり何か作業をしたりするのは決して楽ではありません。ですがそれを、「かわいそうだから、やつてあげよう」ではなく、自分でできる自由を尊重してほしいのです。

そして、使いやすい車椅子や食器、作業用の自助工具と呼ばれるものを選んで自立を助ける工夫をしましょう。車椅子は通常のものは身体の状態に合わせることでできましたが、背中が曲がったお年寄りは背もたれの緩みを調節できると深く腰掛けることができ、腕の力をあまり使わずに車椅子を動かすことができます。まひがあつても腕を動かせるのなら、つかむことを補助するスプーンや、手で

押さえなくても固定でき、すぐいやすい食器などもあります。特に介護保険で福祉用具をレンタルする際には実際に見て用具を選びましょう。



自分でできる自由を尊重

自分で食事

自分で行動

不自由を抱えた自立もある

「不自由を抱えた自立もある」と受け入れ、一緒に福祉用具を選んで、おしゃれな小物を使ってみるなど前向きな気持ちを維持することで負担も気持ちも軽くなるのではないでしょか。